

# 舞鶴中ブロック統合校開校準備委員会（第1回）議事録

## 1 日時

平成22年5月28日（金） 10時00分 ～ 10時40分

## 2 場所

福岡市立婦人会館大研修室

## 3 出席者

### 【開校準備委員会】

開校準備委員会 24名（欠席なし）  
学校教育部会 18名（欠席1名）  
交通安全部会 15名（欠席1名）  
施設部会 20名（欠席なし）

### 【校区選出議員】

妹尾俊見議員（自由民主党福岡市議団）

### 【福岡市】

吉田市長，山田教育長，中島教育次長，菊池理事 外

## 4 議事録

### （1）開会宣言

### （2）福岡市挨拶【吉田市長】

おはようございます。本日は、舞鶴中ブロック統合校開校準備委員会の開催に際し、ご多忙の中、地域や保護者のみなさまに多数お集まりいただき、福岡市を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

また、今回の統合再編につきましては、昨年度より教育委員会が大変お世話になり、この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。

さて、本市では都市づくりの目標の一つに「日本一子育てしやすいまちづくり」を掲げております。子育てにも色々ございますが、その中でも、学校教育は、最も重要な役割を担うものと考えております。

今回の統合再編では、まず子ども達が確かな学力を身に付けるとともに、優しく豊かな心を育むことが出来るよう、施設一体型小中連携校の強みを最大限に生かした教育に取り組むとお聞きしております。公立学校の持つ地域の力、地域に支えていただく公立学校というものの力をいかに発揮されるものと期待しております。

教育の実践の場となる小中連携校の整備は、私達行政に課せられた重要な任務であり、開校準備委員会のみなさまとともに、ソフト、ハードともに誇れる学校を整備してまいりたいと考えております。

新校舎は、教育実践の場としての充実はもとより、本市が力を入れております「安全」「環境」「景観」も重視して取り組んでまいります。

安全面の取り組みでは、子どもたちが安心して通える、学べる、そして遊ぶことのできる空間を創造するとともに、災害発生時には、地域の防災拠点としての重要な役割を果たし、みなさまの安全と安心を守る、地域の基幹的な施設を整備してまいりま

す。

また、環境面への配慮として、自然エネルギーの活用などによる環境負荷の低減に取り組むとともに、舞鶴ブロックは都心でございますので、都心の潤いを創出する緑や美しいまちなみをリードするデザイン性の高い外観も必要と考えております。学校は都心部における都市景観に配慮したデザインが必要と考えております。

従来の概念にとらわれない、魅力ある学校づくりにチャレンジすることが、今後の学校づくりの先進的モデルになるのではないかと期待を寄せているところでございます。

舞鶴中ブロックが取り組まれる教育内容の充実や魅力的な施設整備が地域の成長にも大きな影響を与え、これから子どもを生み育てていこうとする世帯にとって、魅力的な住環境を備えた地域となることは言うまでもありません。

私どもは今回の統合再編を、都心再生の重要なプロジェクトと位置付けておりますが、わかりやすく言えば「子どもをあの学校に通わせたい。」「この街で暮らしたい。」と願う多くの人々が集い、舞鶴中ブロックがますます活気あふれる街となることは、都心を再生する、活性化することになり、ひいては福岡市全体の発展に導いていただけるものと確信しております。

最後になりましたが、開校まであと4年となりますが、地元をはじめ市民のみなさまの期待に応えるべく、「舞鶴」という美しい地名にふさわしい全国に誇れる素晴らしい学校を目指し、地域や保護者のみなさまとともに、教育委員会と一丸となって取り組んでまいりますので、今から様々な課題はあると思いますが、「すばらしい学校を創る」という想いを一つにしまして、みなさま方と一緒に私どももしっかり頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、長くなりましたが、私の気持ちを含めてご挨拶とさせていただきます。

これから色々大変だと思いますが、「すばらしい学校を創る」ということを重ねてお願い申し上げます。

### (3) 地元選出議員挨拶【自由民主党福岡市議団 妹尾議員】

おはようございます。昭和31年に大名小学校を卒業し、昭和34年に舞鶴中学校を卒業しまして、現在も舞鶴2丁目に住んでおります、市議会の妹尾でございます。

本当に今日は開校準備委員会の立ち上げにあたり、ここに至るまで各地域地域ではみなさまのご尽力をいただいて今日を迎えることができたなど、改めて感謝申し上げます。次第であります。

私事ではありますが、私は毎日仏壇に手を合わせておりますが、今日は特別に13年前に亡くなりました私の父、妹尾憲介に「今日は何とか了承してくれ。」とお願いして、ここに参りました。と申しますのは、もう今から50数年前に、その当時は父が市議会議員をしておりましたが、大名小学校の児童数が1,900名を超すということで、非常に教育上困難と言うことで教育委員会から、「昭和通りより以北は舞鶴小学校に行つて欲しい」という案が出されて、この対象になった地域は猛反発でございました。「うちの親父も大名小学校、俺も大名小学校、息子も絶対大名小学校」ということで大変な反対運動が起こったのですが、教育のためということで私の父も教育委員会と一緒に、反対の方々を説得して回ったという話を聞いております。そして50年前に舞鶴小学校が誕生いたしました。それから30数年経った頃でしょうか、今度はまた大名小学校と舞鶴小学校を合併という打診があったときに、私の父が「とんでもない。そんな予測が付かないことをしてどうするんだ。学校というのは教育委員会が管理しやすいように、児童数が多くなったので分けよう、少なくなったので合体しよう、とい

うものではない。学校というものはやはり心のふるさとだ。自分の目の黒いうちは絶対に許さん。」ということでしたが、もう目も黒くないので親父も了承してくれたと思っております。

学校を統廃合するということは地域では大変なことです。地域のみなさまにとっても卒業生にしても子ども達にとっても学校は「心のふるさと」なんです。それを失うということは大変なことで、ここまで持ってきていただいた方々、本当に大変なご決断だったと思います。それはひとえに「これからの子ども達のために」という一点だけだったんだと思います。それでみなさまのご理解をいただき、今日に至ったということですから、それにお応えするには今市長も話しましたように、「すばらしい学校を創り上げる」ということだろうと思います。すばらしい学校というものはハード的なもの、校舎や設備というものはお金をかければ立派なものができると思います。それはそれで大切なのですが、ソフト面、小中一貫校の良さをどのように出していくのか、カリキュラムをどうするのかなど、両方が相まってはじめてすばらしい学校ができるのだと思っております。それには教育委員会だけではかなわないことですので、留守家庭こども会のことであればこども未来局、地域コミュニティということになれば市民局、子どもの通学路整備ということになれば道路下水道局、都心定住・都心居住ということになれば住宅都市局、そしてこういったことには全てお金がかかりますので財政局、全市を挙げての取組が必要となります。そういった意味で今日は市長がわざわざお見えになっていると確信しております。

これから先も色々と懸案事項が起こってくると思いますが、市長が申しましたようにすばらしい学校を創るために官民一体でしっかりと協議しながら学校創りに邁進していただければと心からお願い申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

#### (4) 校区代表者挨拶【箕子校区自治連合会 松原会長】

みなさんこんにちは。今日は第1回の開校準備委員会ということで、ようやくこの日を迎えることができました。遡りまして一年前からこの統合の問題が3校区の中で取り上げられるようになりました。箕子校区が一番最後に調印をさせていただきましたが、先ほど先生方も言われましたが、地域から子どもの声が聞こえなくなるということは地域コミュニティにとっては大変寂しい、活動も停滞する恐れがあります。しかしやはりこれは将来の子ども達のために何とか良い方向付けをしないといけない。そのために地域と保護者のみなさんで約8ヶ月の期間を費やして解決しました。その間、小野田課長をはじめ職員のみなさんに私たちの意見を通していただくために、色々な形でご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。すばらしい統合校を創っていただくということですので、「福岡市内にこんなすばらしい統合校ができた」と我々が誇れるような学校に育て上げていただきたいと思います。

主観的な意見ですが、小学生が塾に通わないといけないという状態は我々からすれば教育のレベルが低下しているのではないかと思います。小学生が塾に通わなくても上級学校に進学できるという教育ができる環境作り、施策をお願いしたい。

これから3つの専門部会のみなさまには大変造詣の深い中でご努力をいただくこと

になります。地域の方は教育についての造詣は深くないですが、みなさんとともにすばらしい統合校を創る努力をしていきたいと思えます。教育委員会及び行政のみなさん、今後ともよろしくご指導とご協力をいただきますようお願いしまして、私のご挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。

#### (5) 出席者紹介

#### (6) 議事

① 舞鶴中ブロック統合校開校準備委員会設置要綱案について

案の通り承認された。要綱第4条に基づき、舞鶴中の渡利校長が委員長に就任した。

【質疑応答】

なし

② 専門部会付託事項について

案の通り承認された。

【質疑応答】

- ・ 委員の守秘義務についての質問があり、事務局より開校準備委員会及び各専門部会は公開を原則としており、会議での議論を各校区に周知してもらいたい旨を説明した。

③ 統合校開校までのスケジュールについて

案の通り承認された。

【質疑応答】

なし

#### (7) 事務連絡

#### (8) 閉会宣言

最後に事務局から、次回の予定は下記の通りと案内され散会した。

- ・ 開校準備委員会
  - ・ 各専門部会
- } 後日事務局より案内する

(了)